

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度	H2年10月～		
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	02 起業と創造が支えるまちづくり
	小項目	施策	03 工業
事務事業名	01	適応業種支援事業	
根拠法令・規程等	備前市補助金等交付規則		
問	担当課(室)	商工観光課	
合	職・氏名	商工労政係長 貞友武典	
先	電話	0869-64-1832	
	このシート作成に要した時間	4.0 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	地場企業、地場企業従事者
目的(何のために)	耐火物、備前焼など地場産業や伝統産業のもつ高度な技術を生かした新しい工業を振興するため、岡山セラミックスセンターの機能を活用して異業種間の交流や関係業種間におけるシステム化の推進を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市内耐火物企業の技術力の向上と産業の活性化を目指し、雇用の拡大を図る。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	岡山セラミックスセンター補助事業	岡山セラミックスセンターに対し、異業種間の交流や関係業種間におけるシステム化の推進を目的として、岡山セラミックスセンター運営に要する経費の一部(4,279,000円)を補助する。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費		4,754	4,279	4,279
	必要人員(人件費)	千円	0.01人	107	82
	事業費		4,861	4,361	4,279
	国県支出金				
	受益者負担				
	繰入金	千円			
その他()					
一般財源		4,861	4,361	4,279	
受益者負担比率	%	0.0%	0.0%	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
試験、分析実施件数	説明		実施した耐火物やセラミックスに関する試験、分析件数		
結果指標	結果指標量	件	9,479	9,240	10,703
	対前年比%	%	97.5%	115.8%	
	活動コスト	円	4,861,000	4,361,000	4,279,000
	単位当たりコスト		513	472	400

(平成22年度事業)

事業の成果						
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値	
		目標値(A)	10,000	10,000	10,000	10,000
		実績値(B)	9,479	9,240	10,703	到達目標値
試験、分析実施件数		達成率(B/A)	94.79%	92.40%	107.03%	10,000
成果指標設定の考え方・式や説明						
岡山セラミックスセンターが実施した耐火物やセラミックスに関する試験、分析件数						

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 <A~E> B
		<input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
		<input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている	効率性評価 <A~E> B	
	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている		
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている	有効性評価 <A~E> B	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	有効性評価 <A~E> B	
	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している		
	<input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい	有効性評価 <A~E> B	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である		
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	有効性評価 <A~E> B	
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		
	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである	有効性評価 <A~E> B	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している		
	<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A~E> B	
	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい		
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> B	

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら効率性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	平成18年度から平成21年度までの4年間で約3,000千円の補助金を減額してきたため、削減の余地が見出せず、今年度の補助金は据え置きとなった。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	
耐火物の研究施設である岡山セラミックスセンターに対する補助金は、地場産業の育成、開発のためには必要であるが、セラミックスセンターが実施している監査、分析等の収入の増加に努めるなど、安定した収入源の確保を図ることが重要である。	評価区分 <A~E>	B	

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	耐火物の研究施設である岡山セラミックスセンターに対する補助金は、地場産業の育成、開発のためには必要であることから、今後も継続していくことが重要である。ただし、実施事業の効率化や検査分析を積極的に受け入れ、受託収入の増大を図り、より自主財源で運営するなど経営努力を促していく。					